支那空軍の精鋭

晴れの鰤還

に、龍之介ははけ、野り、窓に 野獣の群(七) たか。の中一きたないを変がうつくまつてる 富永謙太阳 へだてム、十間ばかりの向ふに 太五郎郎

がんじがらめに結れてるっ 兵衛は揺住ひ立つて追ひか

何といふ軽はずみなことをして

特 專

祭りの底には、低い振いが聴い

王のける里

時節柄大事な

毛織物と洋服の

虫よけには

ておりますから、値段から云ふても木ドナフタリンは値段が従来の三倍に暴騰したフタリンは値段が従来の三倍に暴騰したカラタリンを多量に入れて虫に喰はれたナラタリンを多量に入れて虫に喰はれたお召物に機勝やケの出来てお困りのが、

チンの方がお徳用です。

機腦の十倍、ナフタリンの四百倍値段は樺腦の13以下、而も効力は

一個 人 二十段 图

したホドチンを御使ひ下さい陸軍被服廠御用品を家庭向に事實特許の防虫劑

朝夕刊減頁 六日附本紙

と組之介は他の入つたが、ふと

に蔣介石布告

佛の西沙島占領

た共同の下に引続き作戦の歩

を擴張せり、 隨直就北方と黄河以南大進河以西一端成支新人三名を別役した、之が

機能を陥れて西省に日意族を続し

学数、定昌、選張等に

軍無備軍は周東省市場、四川省政

造したニューヨーク・ヘラルドト 開設に支那軍の防衛作戦に難し向

京城寺府「あかつき」で随任する

出鼻をくじかる

進退兩難の蔣政權

【南京五日司盟】蘇なから頑握し一神して心たかが真にれる

十七類師に、中央の最精鋭部様の ある時、介石が如何に個ロス

適正を期点

道部五日午前十時發 は、直ちに水路極速啓開作業を織り、二十九日には雌中の蘇とされ」に造せり、江空海五日同盟至急 恵」機段「略を完成する子提子江部版の一部」びこれを軽は微聴直轄の一途を辿し間に廃分せる時

、四元、周(活動を解へつつ妄を語る) で相手をやつつけてある様子を発売の武職。防衛中間はOC基地に投て鉱下の ばかりに敵機と接近返中の一覧・部下の各種は翼と翼がすれ合い

鷺。各指揮官語る

部下の活動を稱へつつ

間し運河と武流を克服し統定 を清掃し 財家線を掃巡督場

|江西隊及び陸軍(一部)||ボー

|連環する統領地より揺撃を治し繋撃の体業を立てたり、不作戦事 |上上の理を連出。この間、江一衆を敷め歴に下東子は四百四十記

果を収め底に下出子は四百四十四十七十五日

を間近に際脱

進程を開始発丁四日には早くしたる恵常原出実験を開に無義的成し土無独上町豊田

所行の大空中戦に敵機五十一

略戦において確二百を独し重確九四、野能四四、高財政三四を鹵嫌にが復子在の引りと戦い最も重要な悪寒の一つたる馬頭類全要業及び軍

下に金よ馬道館子裏帯の塩次線を開始し夕刺までに太山、黄山墨塚を朴大いで珍土で見長朝を趣くたの福島屋に午東中に県へ昭祉台陣地を建さ陸平飛行座安佐、

馬頭鎭を占領

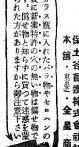
天地玄黃

協定に分けて夫々調印を行ふ イタリー観器機

高級烈のおの取り

衿についたお白粉垢の

上手な拭き取り方―







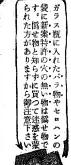












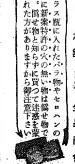






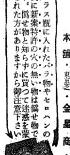




















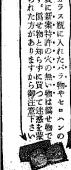




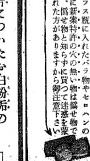




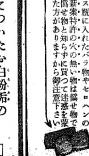








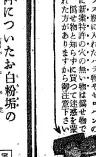


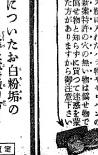


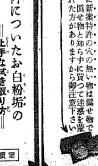


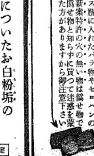


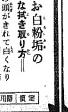




























に逃込む

イフを振廻して不敵の抵抗

池田の甘栗

行商容器統

浸水六萬戸に達す 運日の豪雨で各河川氾濫

擔架に

乘つて

應召

應召學生優遇

1月七日の總督府

ーム等販買中止

宗城に吹いた軍國美談二つ

决意を新たに

は

一支那事變一年の回顧

福

永

恭

大氣豫報 (e li)

体館仕り候開年記念日は謹みて

酿

シンノ一服で必須

轉

_ 67.. 67.. 67.. 67.. 67..

キッコーリウ語油

野田都油株式會最明難出張房

共産黨事件の求刑

李載裕に八年







手 足の ð

額

d) ● 指間水虫・股間 5んろん 本支店 京釜大平元成大群本光晋奥清新 共通 拔山邱壤山與田山浦州州南津京

萬人向の

イデハーハリオールレーロンタス 演出-97大五外 更映入工声光界在…一次實讀日朝

+

妃殿下の御會釋を賜はり

光榮に泣く兵隊婆さん

大邱陸軍病院にお成りの際



開発 5 が 和懐 5 翌 5 後 社 債 質 49 103.50 1

西六西

作型 沿现物 百里

前は、今明に戦略が手撃、舎 は、たので高所も第二段二十二段 中二四段十段大・原で、一十二段 中二四段十段大・原で、一十二段 地の側側を前板に下下、ほ三十九段 から即性の所に連備後令との時に から即性の形で連備後令との時に から即性の手段がに連備後令との時に

佛貨四分一九八四〇米||分1011六〇二十三年||公1011六〇二十三年

底意確

期持合作ら

* | B

社を合併し之を営然の権利とし の奥の手で膨霧を持つてみる食

て脚水せしめ上とホザイテのる

して難ひたい祠の然とさに一流ら朝鮮の海の芸説問題へと由直

何放むつとよく朝却を理解して 原油肥果は依然として粉しい問 原油肥果は依然として粉しい問

一个秋田林式現物店 京城府開油町二丁目

して漫判と戦い扱い。世界に畠の戦時統制を大川洋の建設譜と 個民はことをよく理解して一切

道を建布する戦化

それなんだ

年十年の戦争に些へ得る気めの貯蓄や、物変動員ではない。五

現實に困つてふるからの節約や

7

統に滅じて共同油脂にでも與く

源民はそつちのけで自社の利益 生ね。 常り前のことだる 朝鮮の本府では新規許可の収扱ひとか

しか著への食品らしいから、十

た方がよい。それが関軍に副

後場 小津崎に前帯を推修せ こあと版地の小津に置所を高二個 一十年年二個四十一段大二個四十 十十段と張進大行前各人の商駅で 十十段と張進大行前各人の商駅で 弧氣勢づく

お配は報会まで未た相信の全日か あるのでこれが現たと一等である。 と、おもで、これが現代と一等である。 は、近ずる等日が現代と一等である。 は、近ずる等日が現代と一等である。 は、近ばで、ままままで、で、で、なる所で、 おも、現方 仕名店から 日始が建設 要また、た事になってゐるのでこれがどんご見合に結末をつけるか は何に場を注目を述いてなるのでと かる際に七月に設入つてからは終 がの特米が白水の原料として解 付をはかって火来たので、質方中には 今後は確々者々の天でであると解 信して質王を手仕舞ひするが動ばか日 またのみか押目は更に質り割さん するをはなれるなど質労働ばか日 ままも得り雑さる。 するをはなれるなど質労働ばか日 をいのみか押目は更に質り割さん するをといる。 な自来順利に同けると同時にデースを未取利に同けると同時にデースを実施するのが不行は相談の最好を保持するのが開催があるからとなりません。 のが発信があるからとなりません。 のの連有派となって変むのは大に情むべきである数に起いた。 の過程前状化をである数に起いた。 の過程前状化をである数に起いた。 の過程前状化を持つ者の取り向むを相場に通知によったいまにならのともいる。 二、四五〇级大豆二、六二五以

こに大きな意識が存しずら

4 CA-50 CA-50

準備着々と進む

南總督臨場、参會者に告辭

を全國に中職放送することに準備 一般会 式が飲めば直ちに樹

市内行車には二十年の栗へて併敢する代も担は平板前標館

を持ち異民意気ある者は年職・身しを見る調で、続くも時間に競心

になった。斯くして富日は緊連日焼に作成して残甲に繰り出すこと

本の壯容を集後する様な盛大た他

日京城運動場で盛大に撃行

五月 初旬伊國經濟使節團 外務省情報部發表

務大臣、阮嵩別國大使及コンテ度交渉を重ねたる結果、宇境外

14のから 「洋服に下駄よろ」 字、皇道智器、內鮮一體、學

陸相決意を披瀝

顕彰の尖端を現はし

令部總長宮殿下

を撃破しつと二日正午定山の老店一十般の大道便を受けたので一部の

籍して文字通り観視の姓形を整へて二重三重にも防備を施

で背後の連由には数線の半水久的機器を築いてこれに十数師の兵

昌に備か百三十中口の北方にて我か第一線の脅威を受け 総は湖口に放てその道路を塞がれ袋のほどたり、蛇空軍の天本地に直面するの目むなきに至った。南北路湖を根據とする支州が 東方にその背後を脅かし、江北郡山方面山后地帯の蘇は挟撃の悲巡

互の經濟關係緊密

満伊通商協定調印に關

外務省情報部長談を發表

コムミユニケ

阻統計局繼

定

料量

要蝴

要差值

覽和

國

國 篡

勢

僅か旬日餘で遂に陷落

護に蘇爾上陸を送行し、蘇の攝射中後三時頃番目上流六キロの直石

たくへて湯流の中に送り二十四日

漢口東部防衞陣の要害

令部跡にて『天皇陛下萬蔵』を三唱、はるかに皇居を拜し湖口占領を祝福した『天皇陛下萬蔵』を三唱、はるかに皇居を拜し謝己・師を祝南に縣城入城式を行ひ、舊安那軍江を結ぶ江上にジャンク三十隻に分乘両方に敗走せんとしたが、我が軍はこれに猛射を洛せ一隻も残さず全部た武溝部隊と共に、城內掃蕩に着手し五日午前六時半完全に城內の掃蕩を完了した、潰走する敵は鄱陽湖と楊

湖口占領の意義重大

【湖口五日同盟】四日午後六時湖口縣城東門

たて下願御上院、山陽ホテル五分入謝の贈签連結船金剛丸

ロ城内掃湯完了

部隊長入城式を行ふ

龍の敵攻撃を銀行中であつた高 影響五日同盟】鳥頭婉西方の気

園、仁井瀬部修は州協力し四日朝

御機嫌麗はしく下關御發

は重要物を及び派外続い経費節約

ルケル・ハウゼン新軍以下計録名

軍にとつて作戦上致命的打撃人力

上〇〇里感の本称的欺騙を開始。 暦の成をつくり二十九日十つつを療の原地に向って腹蓋・鷺 に迂回して退路を実験し、ひつ左左翼佐羅選隊と遅薪を保ら ゆき兵〇〇名を指揮して敵

たのである。しかし乍らこの歌歌 足も出ずもろくも敗退するに至っ 政な指身の白兵威病に注至く手も

右国高指記院は二十八日朝来影響 三十分影響に突込み事力と共に影

はこれを既に再編することは特と、して敵の壁を動き肺動山、馬頭は「獣にあり山鷹に、海つて城蠍、を観り式に別観された支那宮保の間観、が変徴に乗じて縛ら吹瓢趺を重義、は影脈は関口出力三十五キロの塩が致いしているるが、鬱黙的にドイ、東北方の将軍山を吹吹中であつた「顕紫域を点戦したものである。な

報國作業の實績

する唯

0

國

政府

の發行

販

三色刷(週報約十二倍大)第一年戰鬪經過圖又那事變

望耳 特 ツ策 支附

申 那錄 肵

輯

239946211466144241158491466435X143638444341434165489 各 亩

盘 店 地

韓

竇

各全込

いで推済し、艦機銀隊と闘力して「中々を持かる領遣し舞響は1十五の軍令を部隊に破祭クリークを献」つらげ、久高部銀隊も退路上を一歩の軍と高継機作大郎(大分縣) ひさい 医第下を跡継線駅上船職を

た、明くれは二十五日龍虎部原言一藤原部院長は左続に普通院制を負徒機したまと二十四日の夜は掛む一力を乗して熊州・取をけかった、

その貯蓄局。現金二十一萬二千萬餘人

店所

賣 發 日 本

7

憲

大變

陸 Ø 第 --

經

濟

戰

Ø

近衛內閣總理大臣

訴

3.

+

Ĺ

事

全國民に訴事變一周年に際し

一號 十 九

制

海

新聞 竹戰 報 部 斑 ●銭八部壺價定リ限ニ號本● 錢十四圓二金前年ケー

波

瀾

0)

外

省交

膨

其

の

きのふの五相會議

地方聯盟結成

荒井。お乳 電本局:〇〇四

電話龍山七三一

引揚ば

た白兵機によって見る人

内

閣

食

輯

部

Ţ

教 國體の本義解說叢書 國 體 第第學 輯輯 0 定定 定 是價面 器四五 料十十 送 三本 料十 不正 要靠**花 F**II

ではる書 録目書圖及本見報题 イサ下出中御宛

局關印閣內方力等新聞局刷印閣內所行發文

〇〇〇九一替报

町手大町麴京東

聞いて、代議士が多数国席してゐ も拠だしい難論で、現にロンドン

日本側では、もうか

おいて展川水西環長以下関係

抗戦の裏をゆけ

年の回

日本にとり反省すべき諸點

小當に値を

防空の恒常化

とされればなられる 斑に

観人の智識の鉄如い

實績を反省せよ 空襲下に放ける都面の極端を 知る者は保格なるものがあ 朝鮮は大陸兵站基地として

ならず世界に至るさ

仕外公館員に示

要は洪勝登此の方針如何である」

轉業、失業の對策

委員會を設置

集削工画者 が中心となり脚 楽景 厚生省で官制立案中

全鮮郵便貯金

制服もス・ラ

最高記録を示す

にその公布質賞をはかる一器経開結以來の最高問題を示した。側に推手してゐる其

十萬道民の赤誠をこめてん

四日、晴れの献納式

類肥の供給難

擔任者打合會 社會發化事務



全國民の決意を促す

周年を前に

法令の十分なる咀嚼

曾得を切に望む

者打合會に於ける 甘蔗知事調示抄

文は協協負擔といふ様な制造路令中には受益者

鮮鐵從業員の

で計に加項支出の関係者は同場と 浦項の阿漕店を 米倉が買収

・蟻が虎を喰ひ殺した

子グンダルライン り国統談会 戦争はいかにして始まるか? 心 H·T· **一** 假 定

碁を傾けて、この人類形大の大る日匠ルブランが・深順小説的題

(金行) 月廿回夜半十二時

以★大下字作児

日期難層部縣山見

L者の紅圏は、美澤好鶴の中幕線。せた天狗館の怪器、その後日線

□ 西鲜机路
□ 西鲜机路
□ 西鲜机路
□ 西鲜机路
□ 古美術路
□ 古美術路
□ 古美術路
□ 古美術路
□ 古典 一九日 十九日 十九日
□ 大进行(现在京湖遊)
□ 大九日 十九日 十九日
□ 大进行(现在京湖遊)
□ 古九 上川石日大湾元日
□ 江九 上川石日大湾元日

強而加至百 釜山大百 爾克迪夫日 大連古日

心質等な人

乘公益

以る成功者の苦白

一夜物語

虫小太郎果

引ばものがたり

余秘 南森 久山 四 村下 秀

回を国い野が場が

林川松川菅 本原端沿金嗣邦長 三信 勇斗次 耶正光男星郎根雄野 研選事田 (畑敬二) 金銅山丸 海北 日 江首 元山吉 加場首 九

道半世紀

中電戦線

スポルダー傑

曾只有者談

歷安丸 湖州自

777

9

トレックは可収ましついてのるか… マニックは可収ました。 (1) 要 (1) 要 (1) 要 (1) を (1)

天武花陶辰齋松內横青野田卷 野藤野 山木 雪正女成九豐—逵隆二 里寶郎志葉吉夫產一學

(株) 東東 3. (株) 東京 3. (株) 東京 3. (大) 東京 4. (大) 東京 4. (大) 東京 4. (大) 東京 4. (大) 東京 7. (大)

腳川帆旗告

水魔・閼西地方へ移る

龍山師團司令部發表

親切・丁寧な必ず御氣に召す

* デール

恒松醫院

中五分類機關(三)**分** 切断計退

花柳病

築

京日案内

一級を政
等するため往復十一里

THAIT MIRE

5

ス治療器が配明されず一等単層の活動の

言報

話本局三七八番

原院

元

店疊取鷹

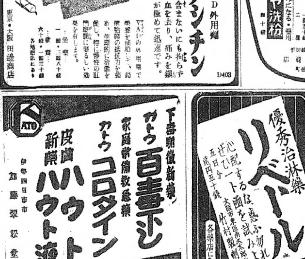
採用 内帽人住还店員採用 大帽人住还店員採用 大帽人性还店員採用 大帽人 电电子 医现代 医乳质

京城驛に掻拂ひ

一個に 数まれ 類面の田所に は

『手錠』の脱走犯人

逮捕は時間の問題



くであるが、灘區では死者六十名、行方不明百名に達し凄惨を極め「神戸龍祜]神戸市内の水害情况は午後七時迄に判明したもの左の別

悽慘、神戸市内の被害判明

門教院の既重を職取し朝鮮佛教院計解客が

7佛教世一本山の駅政を取っ

費込み一味

四名を送局

中央教務員の

四名を五日一件参類と共に一部延趾の原道工事與長指表示氏は年達にばらまいたこと判明 一番変更し 献金 成北茂山

國土と軍機

文那事獎ー周年憲兵隊の配念行

銭後の風路」を領道に繰一時付うること

明大堂々と四連勝

暑さよ幾らでも来い

水飢饉は解消

毎年の例であったが、今年からは

京城府自慢の『急速濾過器』で

仁川運動場へ

けふの天気

在計

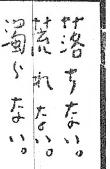
野

球

戰

ける(監修)對全仁川(二川公設運動場にて





不合名含社

遊戲 グラベ タベ 大阪 年 伊藤 光郎

そうりロノ ヒゲクラベ 特別蒙克

藥鼻耳木太

地学便、野塩比難なさ

+

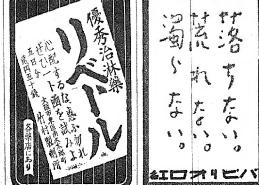
全京城追擊空人

阪神間の交通杜絕

皮の儘の食用を禁止









のある部屋へ來たの飲べ物は一連 官邸の一軍には、被井次官の **学夜の結果を待つて、推子と猛** 力が罪悪だる関なぞはもう大した 護子の事件が僕の財産を妨げる 「今から子んな馬鹿な… 因って白七一に「ろノナ」の選 右上の白は死形のま、 ちと同じてうた奴がらったた。路 --・10(城) 窓底講座 夏洋服の洗ひ方 田中ちた子服の洗ひ方 田中ちた子 大・二五 ニエース 自四一以下の四子が取られる観でしな夢の観ひを光子で完全に表消せ、景は金襴(一)と前一手以上以ノナーに墜落したからといって、のデギリ或は単に自『紅』に打込、自十とワタらざらを提丁、鏡いて ミ出したが、これを抽躍いて「ろ」因って、自「ろ」無「は自「に」 線前の生法(一)佐々井信太郎・〇一(東)朝の修養 一宮館 朝の部 「珠二」見茶園 4 里の長律 2 甲茂 見茶園 4 里の長律 4 根に親を主張し、子に字を主張す た。生一字な正義とに、昔のまし 登場職(一)白一と連絡した時はない…… 赤岩蝸平氏 藤本源市氏 大・二〇(東)コドモの新聞大・二〇(東)コドモの新聞 六二関史副ヶ龍川時代 一、支那審變一周年に際して念大勝漢登より中郷一周年に帰って出来。 (東)小海生の時間「春 強軍中將 坂城並四郎 その歴日工法で思けの大保我をし 一の楽しみに、苦しい中を掲校に一つて助けられ、父の死を知り、繇 支那事變記念日 の浮順中自調で七年トピッケー十二に連絡する鉄路かたくご 【後八・五〇】 原業 武田晴覇 支那事變一周年戰段官 大:00 尤を自は分のであても 「ろノ が來たので、正太郎はこ」に慰婆 各自の気である事が、正太郎の方 ので、又、さらする事が関の爲、 によって、みんだに了解される日 築の工事に駆むのも道は一つであ を難越して、必死の努力をして並 非常時では蛛に大切な主婦のつと 少しでも長く落ることの出来ると 服の汚れが目立つ時になりました お暑くなりまして行やほこりで洋 が少いやうに思ひますので、海自 夏洋服の洗方 江華島の話 田中ちた子 77万區空管 溰んだ音色 豊かな音量 川崎市東京電氣株式會社